

建設水道委員会

市の土木部及び水道局の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎竹内靖人 ○野村昌平 岡田康弘 川端恵美子
近藤吉一郎 田口慎一郎 村田隆男 吉田耕造

今期定例会において、建設水道委員会に付託された議案八件、継続審査中の請願一件について、十二月十四日に委員会を開催し、慎重に審査した。

議案八件は、いずれも全員一致で原案のとおり可決した。

主なものとしては、議案第四十七号「一般会計補正予算(第三次)」は、主に道路新設改良に伴う工事費の増減と県道整備事業に係る事業費等の確定に伴う予算措置である。議案第六十二号「一般会計補正予算(第四次)」、議案第六十四号「下水道事業特別会計補正予算

(第三次)」、第六十五号「農業集落排水事業特別会計補正予算(第一次)」、第六十八号「水道事業会計補正予算(第二次)」は、職員給与等の改定に伴う補正である。議案第六十一号「字の区域・名称の変更について」では、変更をする地域への慎重な対応を要望した。

請願平成十九年度第十三号「南部第一中継ポンプ場の伏見町地内設置予定の変更を求める請願書」は、今後さらに調査研究の必要があると判断し全員一致で継続審査と決した。

土木部から、川崎八出線の新天神橋の開通式、大規模集客施設の郊外への立地制限や準工業地域から工業地域に用途変更する地区について、ガラスハウスの現在の状況について報告があった。ガラスハウスの今後の経営については積極的な営業努力を要望した。

水道局からは、二宮地内で発生した配水管破裂事故について報告があり、水道設備等の点検整備について要望した。

視察日程

平成二十一年十月二十七日(火)～二十九日(木)

場所と目的

鹿児島県鹿児島市

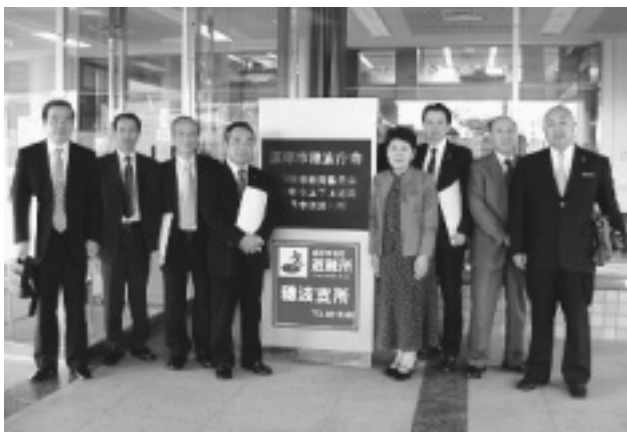
下水道汚泥の処理について

福岡県飯塚市

水道事業の効率的運用について

福岡県福岡市

アイランドシティについて



鹿児島市は、下水道処理施設から発生する汚泥を好気性微生物に

より発酵させ肥料にし、作られた肥料は、全量有効活用されている。

この施設は、築三十年が経過しており、更新のための建設費が発生し、処理費用は肥料の全量を販売しても市費の投入がされている。当市に導入できるならば、民間での実施を検討したいと感じた。

飯塚市では、水道事業の合理化のために浄水場の運転管理を民間へ委託している。水道水の安全性と安定供給を第一に考え、様々な合理化策を講じて効果を上げている。可能な限り当市でも合理化策を取り入れられたい。

福岡市では、都市計画事業として海を埋め立てて、白紙から都市計画をした理想的なまちづくりを視察した。実際に居住が始まると自然環境や住民自治など設計書には載せられない課題が見えてきたとのことであった。事業推進には、地域住民や関係団体の協力が不可欠である。